

# 神戸常盤大学卒業生を中心とした生理検査の生涯教育

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田村, 周二, 杉山, 育代, 今西, 麻樹子, 坂本, 秀生 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://kobe-tokiwa.repo.nii.ac.jp/records/1072">https://kobe-tokiwa.repo.nii.ac.jp/records/1072</a>

3-P-4

## 神戸常盤大学卒業生を中心とした生理検査の生涯教育

田村周二<sup>1)</sup>杉山育代<sup>1)</sup> 今西麻樹子<sup>1)</sup> 坂本秀生<sup>1)</sup>

病院や健診センターに勤務する臨床検査技師にとって、超音波検査を中心とした生理検査業務の基礎的なカンファレンスを実施している講習会は非常に少ない。また、小規模の病院では、超音波検査が多様な分野に分かれるため、その分野に詳しくない先輩方から指導を受ける施設や、突然に院長より超音波検査依頼を受ける施設などがあり、その対応に当大学卒業生が困惑している現状がある。兵庫県臨床検査技師会の生理研究班による勉強会や超音波ハンズオンへの参加も、定員オーバーや職場業務との調整がつかねる現状があり技術の伝承もままならない状態である。そこで本研究はリカレント教育を実施するための、効果的な教材作成を含む運営方法の基礎を明らかにするため、その効果について当大学卒業生の視点から毎月のカンファレンスアンケートにより学修効果および教材への評価を解析した。

新人達のアンケート結果から「経験したことのない疾患動画を見ることができ来週からの仕事に役立ちそう」「前回の講義が役に立った症例にあたりました」などの回答が多数寄せられ講義に使用した教材内容に対し 82%が満足するものであった。また、新人技師の参加だけでなくベテラン技師の参加が多いことにも注目すべきである。超音波検査は能力や技術などの資質が最も問われる部門であり、これらのアンケート結果をもとにリカレントオープンカンファレンスの当大学における役わりについても解説させて頂く。

---

1) 保健科学部医療検査学科